

# 基本方針

副理事長 新藤 勇介

まちをつくるのは人です。すなわち、人を育てることはまちをつくることに繋がります。とりわけ、次世代を担う子どもたちの教育は、明るい豊かなまちづくりを目指すJC運動の根幹を担うものです。私たちは熱い想いを持って、このまちの未来を担う子どもたちの育成に真摯に取り組む必要があります。

情報化社会の進展により、時代は目まぐるしく変化し続けています。このような変化し続ける時代の波に取り残されぬよう、子どもたちの教育にも、このとき、このまちに応じた「変化」が必要です。今子どもたちの教育に必要なことは、机上の学問にとどまらず、世の中で起こること、人生で感じること、あらゆるものに目を向け経験することで、絶えず変化し続ける時代に対応できる「生(活)きる力」を養うことにあります。そのためには、子どもたちが、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心といった「豊かな人間性」を備え、単なる知識・技能に加え、学ぶ意欲、自分で課題を見付け自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力に裏打ちされた「確かな学力」を身に付け、そして、これらを根底から支え、たくましく生きるための「健康や体力」を培ってもらう必要があります。私たちJCには長年かけて培った地域や行政、各種団体との繋がりがあります。これらの繋がりを最大限に活かし、いまこそ「健康や体力」、「豊かな人間性」、そして「確かな学力」に裏打ちされた「生(活)きる力」を養うことのできる教育事業を展開するときです。そして、子どもたちの未来に携わることは、きっと現在を生きる私たちにも新たな「変化」を齎してくれるはずです。

子どもたちは未来の宝です。やがて青年となり、未来を背負って立つ子どもたちのために、現在を生きる私たちには何ができるか、そして何をすべきかを真剣に考え、私たちの英知と勇気と情熱を注ぎ込みます。

すべてはこのまちの光輝く「未来」のために。